

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.11)

豊田市PCB処理安全監視委員会が開催されました

平成16年度第2回豊田市PCB処理安全監視委員会が、2月15日(火)に豊田産業文化センターで開催されました。

豊田市から、10月に行われた日本環境安全事業株式会社(JESCO)の北九州PCB廃棄物処理施設視察の報告がありました。

JESCOからは、豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)建設工事の進捗状況を報告した後、豊田施設に係る受入計画及び受入基準、豊田施設への入門を許可する収集運搬業者に係る認定要綱をそれぞれ説明しました。

また、豊田施設の安全設計とそれに対する安全解析の結果を報告しました。

続いて、豊田市より「豊田市ポリ塩化ビフェニル廃棄物の収集運搬に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書(案)」が示され、収集運搬の安全性の確保について、熱心に審議されました。



豊田市内のPCB廃棄物保管・使用事業者説明会



2月25日(金)に、豊田市主催のPCB廃棄物保管・使用事業者説明会が、豊田市民文化会館で開催されました。

豊田市内を中心に、約100の事業者の関係者130名が出席され、2時間半の説明を聴聞されました。

説明会は、始めに豊田市から廃棄物処理法及びPCB特別措置法に係る事業者の責務が説明され、続いて豊田市PCB廃棄物処理計画の説明があり、事業者の方々に早期処理とその間の適正保管の実行が要請されました。

JESCOからは、豊田施設の概要と安全性の確保、早期登録・調整協力割引、中小企業の処理費用の軽減等について説明しました。

施設制御システムの工場検査立会

豊田施設では、高圧トランスや高圧コンデンサなどの電気機器はPCB油を抜油した後、解体し各部材毎に分別します。鉄や碍子などの部材からPCBを洗浄溶剤で洗う真空超音波洗浄装置、PCB油が染み込んだ紙や木などの部材からPCBを洗浄溶剤で洗う攪拌洗浄装置、さらに深く染み込んだPCBを除去する真空加熱分離装置、これらの装置から出るPCBを含んだ洗浄溶剤からPCBを分離する蒸留装置、各工程から集められる全てのPCBを脱塩素化分解し無害化する液処理装置などは、全て自動運転で行います。

この全自動運転を装置毎に個々に制御し、それらの制御装置間を連携しながら全体的に制御し、安全確実な処理を監視するシステムが、分散型制御システム(DCS)です。

DCSのソフトウェアについては、1年をかけて検討を重ね製作してきましたが、1月27日(木)に豊明市の製作工場DCS装置の工場検査を行い、ソフトウェアを含めた試作品を確認しました。

なお、施設が完成すると5階制御室で、このシステムを使った制御と監視の様子を見学者通路からご覧いただけます。



後方に並び制御装置と前面の監視用モニター



前処理設備・液処理設備の補助操作卓

工事の状況 外壁塗装及び屋外施設工事を開始

外壁のALCパネルの設置を完了し、外壁の塗装工事を開始しました。外壁の色は建物の3階までを濃色、4階以上の上層階を淡色にして、各階にボーダーラインを配置することで施設全体の圧迫感を軽減し、周辺環境に溶け込みやすいよう配慮しています。外壁塗装は北西面より開始し、3月下旬には完了する予定で、最終確認をした後順次足場を解体していき、4月上旬には施設全体が姿を現します。

2月は、屋外施設(特高受変電所・非常用発電機棟)と処理棟部分のSD受入室等の工事にも着手しました。この部分は、従来は大型重機の据付場所や資機材置き場として利用していましたが、大型重機の必要な工事も終了し、屋外施設の基礎工事に着手しています。

豊田施設の電源は、敷地南西部に既設する特別高圧線から特高受変電設備に直接受電し、変電した後、7階に設置する高圧電気室に送電して利用します。

敷地西面中央には、SD受入室及びボイラー置き場を設置し、PCBの脱塩素化分解に使用する金属ナトリウム分散体(SD)の受入タンク、各種蒸留塔の熱源としてのガスボイラーを設置します。



外壁塗装が一部完了した処理棟西面



特高受変電設備の設置状況



基礎工事が完了したSD受入室・ボイラー置き場

今月の工事予定

3月初旬～ 処理設備: 1～7階ダクト配管電気計装工事、機器据付確認、配管耐圧検査
建築: 外壁塗装、給排水衛生・電気工事、間仕切り・天井ボード貼り、塔屋工事
屋上防水工事、特高受変電所電気工事、SD受入室鉄骨及び外壁工事
EV工事



施工者から一言

2月は、7階機器(高圧受変電設備、換気空調設備等)の搬入を完了し、搬入開口部のコンクリートを打設しました。建物内部では各部屋の間仕切り、天井ボード工事及び給排水衛生工事を本格的に進めています。また、屋外施設(特高受変電所、非常用発電機棟)にも着手し、4月の受電に向け電気工事も本格的に着手しました。また、外壁の塗装工事にも着手し、3月下旬の完了に向け、工事を進めています。

3月は、試運転員による配管電気計装チェックを進め、4月に受電して確実に試運転が開始出来るよう準備していきます。工事が最終段階を向え、気のゆるむことがないよう一層の安全作業で工事を進めていきますので、よろしくお願い申し上げます。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体

代表者: 株式会社クボタ

構成員: 株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所

0565-37-7226